

JSDP^{26th}



一般社団法人 日本発達心理学会第 26 回『大会ご案内』

ご挨拶

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日本発達心理学会第 26 回大会は、2015 年 3 月 20 日（金）から 22 日（日）の 3 日間、東京大学本郷キャンパスにおいて、東京大学大学院教育学研究科との共催で開催をいたします。日本発達心理学会も創設から四半世紀を過ぎ、過去の学術知見の見識から学ぶとともに新たに出現する未来の発達心理学を構想し学際的に知を創出する時がきています。そこで本大会テーマは「創出する発達心理学—知のグランドデザイン」といたしました。

大会委員会企画として、1) 海外特別招待講演では、乳児発達研究第一線でご活躍中の、ハーバード大学医学部心理学コース Eugene C. Goldfield 教授、子どもの発達に保育・教育の質が与える影響に関する長期縦断研究プロジェクト等で著名な、ロンドン大学幼児児童発達教育センターの Iram Siraj-Blatchford 教授をお招きして行います。また 2) 大会委員会企画シンポジウムとしては、「保育実践政策学の創成」「東京大学教育学部附属中等教育学校におけるふたご研究」「ことばをことばならしめているものの発達：文フレーム、助詞、プロソディ」「授業研究と発達心理学」「発達障害を持つ人の生涯発達」（いずれも仮題）を予定しております。3) 「新しい発達研究のための基礎講座」としてチュートリアル・セミナーでは、多様な方法論を学べる企画を 3 日間連続で 9 本用意し、本学工学系研究科の先生等にもご協力をいただき行う予定です。4) 東京大学教育学部附属中等教育学校は、1953 年から 61 年間双生児の教育ならびに研究を一貫して行っており、そこで大会企画シンポジウムとともにポスター発表として「東京大学教育学部附属学校生による発達研究」「ふたごの実像を知る」（いずれも仮題）を予定しております。

なお、大会開催をお引き受けした後、開催時期が本学内の様々な建物の建て替え工事時期と重なることが判明しましたために、工学部 2 号館を中心にして学内の複数の他学部建物を借用して実施する運びとなりました。このため、ご参加の皆様には、キャンパス内の複数の建物を飛び地のようにご移動いただくことや、準備委員自身も不慣れな建物での開催案内になりますために、いろいろ対応等でもご不便をおかけすることも出てくることかと思います。この点、ご事情をご理解いただけましたら幸いです。

大会委員一同、多くの会員の皆さまのご参加をお待ちしております。

2014 年 7 月

日本発達心理学会第 26 回大会委員長

秋田 喜代美

☆以下の内容を熟読の上、お申し込みください☆

目次

I. 送付物一覧	p. 2
II. 会期・会場	p. 2
III. 実施内容	p. 3
IV. 大会参加の手続き	p. 6
V. 大会に関する広報・諸連絡	p. 9
VI. 第 26 回大会および学会に関する連絡先	p. 11

I. 送付物一覧

今回お送りしたものは次の通りです。不足するものがあれば日本発達心理学会第 26 回大会委員会 (E-mail : jsdp2015@p.u-tokyo.ac.jp) にご連絡をお願いします。

- 1) 「大会ご案内」(本通信)
- 2) 「Web 申込/投稿要領」
- 3) 「原稿書式要領」
- 4) 諸費用払い込みのための「郵便振込用紙」

※今大会は 2 号通信は送付しませんので、「原稿書式要領」と「郵便振込用紙」も今回の封筒にすべて同封されています。ご注意ください。

II. 会期・会場

会 期 : 2015 年 (平成 27 年) 3 月 20 日 (金)、21 日 (土・祝)、22 日 (日)

会 場 : 東京大学 本郷キャンパス (会場の詳細は大会ホームページをご覧ください)

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

アクセス (赤門まで) :

〔地下鉄〕

- ・都営地下鉄大江戸線「本郷三丁目」駅より徒歩 6 分
- ・東京メトロ丸の内線「本郷三丁目」駅より徒歩 8 分
- ・東京メトロ千代田線「湯島」駅または「根津」駅より徒歩 15 分
- ・東京メトロ南北線「東大前」駅より徒歩 15 分

※ 「本郷三丁目」駅よりお越しいただくのが最も便利です。

〔都営バス〕

- ・JR 御茶ノ水駅から都バス茶 51 駒込駅南口又は東 43 荒川土手行「東大赤門前」下車 徒歩 1 分
- ・JR 御徒町駅から都 02 大塚駅前又は上 69 小滝橋車庫前行「本郷三丁目駅前」下車 徒歩 6 分

詳細なアクセス方法は、東京大学ホームページをご覧ください。

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html

III. 実施内容

本大会の実施内容は、1. 大会委員会プログラムとして①海外特別招待講演、②大会委員会企画シンポジウム、③チュートリアル・セミナー、④附属中等教育学校との連携企画、2. 会員プログラムとして①ポスター形式の研究発表、②自主シンポジウム、③ラウンドテーブル、④日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウムを予定しています。以下、それぞれの概要と発表形態、参加方法等について説明します。

1. 大会委員会プログラム

① 海外特別招待講演

海外特別招待講演には以下の2件を予定しています。詳細は大会ホームページならびに大会プログラムでご案内します。

- ・ Eugene C. Goldfield 教授（ハーバード大学）演題：未定
※日本生態心理学会との共催企画です
- ・ Iram Siraj-Blatchford 教授（ロンドン大学）演題：未定

② 大会委員会企画シンポジウム

大会委員会では、大会テーマ「創出する発達心理学—知のグランドデザイン」をコンセプトに、シンポジウムを企画しています。シンポジウム講演者等の詳細は大会ホームページならびに大会プログラムでご案内します。以下、いずれも仮題です。

- ・「保育実践政策学の創成」
- ・「東京大学教育学部附属中等教育学校におけるふたご研究」
- ・「ことばをことばならしめているものの発達：文フレーム、助詞、プロソディ」
- ・「授業研究と発達心理学」
- ・「発達障害を持つ人の生涯発達」 他

③ チュートリアル・セミナー「新しい発達研究のための基礎講座」

本大会では、多様な方法論を学べる企画を9本企画しています（以下、すべて仮題）。本学工学系研究科の先生等にもご協力をいただく予定です（以下全講師名、順不同、敬称略）。詳細は大会ホームページならびに大会プログラムでご案内します。

- ・ 峯松 信明（東京大学） 「発達研究のための音声分析入門」
- ・ 矢藤 優子（立命館大学） 「描線情報解析ソフトを用いた描画発達検査の分析」
- ・ 高橋 雄介（京都大学） 「発達のアウトカムに関する縦断研究」
- ・ 星野 崇宏（東京大学） 「準実験デザインと因果効果推定：無作為化実験ができない場合のデザインと解析法」
- ・ 岡田 謙介（専修大学） 「心理学における効果量をめぐる最近の動向」
- ・ 麻生 武（奈良女子大学） 「フィールドにおける観察という方法：“私”という存在のもつ意味」
- ・ 矢守 克也（京都大学） 「アクションリサーチの方法」
- ・ 抱井 尚子・末田 清子（青山学院大学） 「構成主義的なグラウンデッドセオリーの方法」
- ・ 安田 裕子（立命館大学） 「複線経路等至性アプローチ」

④ 附属中等教育学校との連携企画「附属学校生による発達研究」「ふたごの実像を知る」

詳細は大会ホームページならびに大会プログラムでご案内します。

2. 会員プログラム

① ポスター形式の研究発表

- (1) **発表形態** 個人または複数の人がポスター形式で研究を発表するものです。ポスター・パネル（横 90cm×縦 210cm）にポスターをセッション開始時刻までに発表者自身で掲示し、それをもとに発表者と質問者が個別に討論します。ポスターの掲示時間は午前または午後、加えて初日は夕方の 2 時間で、責任在席時間は決められた 50 分とします。連名発表者も大会に参加し、発表に参加することが期待されていますが、責任在席時間はありません。連名発表者は責任発表者と共同で研究した者に限ります。
- (2) **大会発表論文集割当ページ** それぞれの発表には「大会発表論文集」の 1 ページ分が与えられます。同封された大会発表論文集の「原稿書式要領」をご覧ください。
(注) 研究発表者全員（責任発表者と連名発表者）が参加申込費と連名発表費を期日までに納入しない場合には、**大会発表論文集への掲載はできません**ので、ご注意ください。非会員が連名発表者の場合および連名発表者が会員でも大会に参加しない場合には、責任発表者がその諸費用を期日までに納入することが必要です。
- (3) **発表要件** 「大会発表論文集への掲載」「掲示時間内のポスター掲示」と「掲示場所での責任在席時間内の個別討論」の全てを行うことによって、公式発表と認められます。3 つの要件で変更、不備・不足があった場合には、大会委員会は学会理事会と協議し、その取り扱いを決定し、その決定を機関紙広報欄で報告します。
- (4) **発表回数** 責任発表者となれるのは、大会期間中 1 回に限ります。ただし、連名発表者となる場合には回数の制限はありません。
- (5) **責任発表者の研究発表費** 責任発表者の研究発表費は大会参加費の 12,000 円に含まれています。
- (6) **責任発表者以外の研究発表費** 会員が連名発表者となり、その会員が大会に参加しない場合には、責任発表者はその会員の連名費として 1 人あたり 2,000 円を支払う必要があります。
また、非会員が連名発表者となる場合、大会への参加・不参加に関わらず連名費は 2,000 円です。連名費は発表毎に支払う必要があります。ただし、同一非会員が大会に参加する場合、複数の発表・企画で連名になっていても、大会参加費のお支払いは 1 回でかまいません。諸費用の支払いに関する詳細な説明と事例は大会ホームページに記載します。

② 自主シンポジウム

- (1) **発表形態** 会員の自主運営によるシンポジウムです。企画者が出演者（司会者、話題提供者、指定討論者等）を決め、シンポジウム形式で研究発表や討論をするものです。時間は 120 分です。会場として 50～100 名程度収容可能な部屋を用意します。机と椅子は会場により固定の場合がありますので、ご了承ください。会場系のスタッフが進行のお手伝いをします。会場では、コピー機使用およびスタッフによるコピー代行はできません。資料、お水等が必要な場合には、企画者自身で事前にご用意ください。
- (2) **企画申し込み** 開催を希望される方は、規定の要領で企画申し込みをしてください。なお、会場スペースの都合により、企画数が多い等の理由で開催できない場合があります。開催可能か否かについては 9 月 16 日（火）までに企画者に通知します。
- (3) **会場音響・映像機器使用** マイク、プロジェクター、Windows の RGB コネクターは会場で用意します。ただし、ノートパソコン、DVD プレーヤー、(Mac および HDMI 端子のみのノートパソコンをご使用の場合) VGA 変換アダプターは各自でご持参いただく必要があります。

- (4) **大会発表論文集割当ページ** それぞれの発表には「大会発表論文集」の 2 ページ分が与えられます。
(注) 期日までに、企画費と出演者全員の参加申込費等が納入されない場合には、企画として認められませんので、ご注意ください。
- (5) **企画および出演回数** プログラム作成上の理由により、会員が自主シンポジウムを企画申し込みできる回数は、原則として 1 回までとさせていただきます。企画者、司会者、話題提供者、指定討論者等、大会発表論文集原稿に名前が記載される場合には参加の形式を問わず、その企画への出演者とみなし、出演者としての登録は原則としてラウンドテーブルと合わせて大会中 1 人 2 回までとさせていただきます。
- (6) **企画費** 企画費は 20,000 円です。企画申込者が参加費と一緒に支払ってください。
- (7) **企画申込者以外の研究発表費** 参加者は会員・非会員にかかわらず大会参加費の納入が必須となります。非会員が司会者、話題提供者、指定討論者として企画へ参加する場合の連名費は 1 人あたり 2,000 円です。同一非会員が複数の企画に参加する場合、連名費は企画毎に納入してください。ただし、大会参加費のお支払いは 1 回でかまいません。諸費用の支払いに関する詳細な説明と事例は大会ホームページに記載します。

③ ラウンドテーブル

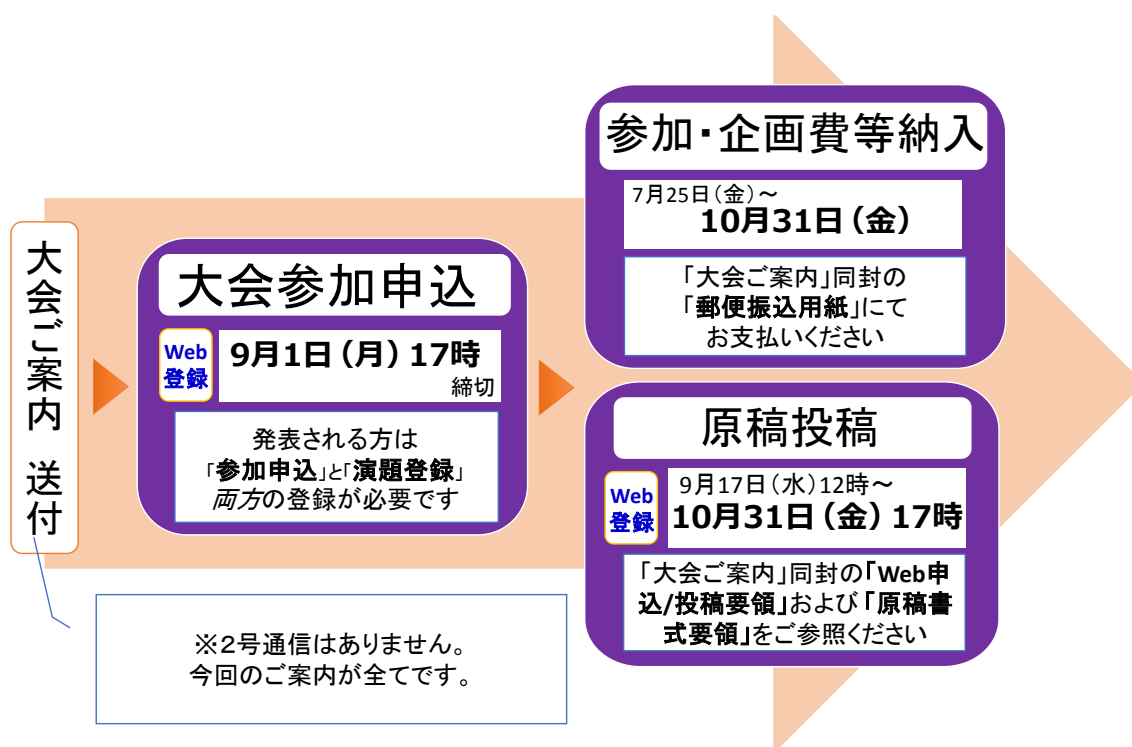
- (1) **発表形態** 同じ問題意識を持った者同士の自由な議論が主体の企画です。企画者は参加者に話題を投げかけ、討論を促します。必要に応じて、話題提供者やファシリテーター等を設定してもかまいません。ただし、シンポジウムと違い、話題提供者とフロアとの区別はありません。時間は 120 分です。会場として 30～50 名程度収容の部屋を用意します。原則として会場系のスタッフはつきません。会場では、コピー機使用およびスタッフによるコピー代行はできません。資料、飲み物等が必要な場合には、企画者自身で事前にご用意ください。
- (2) **企画申し込み** 開催を希望される方は、規定の要領で企画申し込みをしてください。なお、会場スペースの都合により、企画数が多い場合等の理由で開催できない場合があります。開催可能か否かについては 9 月 16 日（火）までに企画者に通知します。
- (3) **会場音響・映像機器使用** マイク、プロジェクター、Windows の RGB コネクターは会場で用意します。ただし、ノートパソコン、DVD プレーヤー、(Mac および HDMI 端子のみのノートパソコンをご使用の場合) VGA 変換アダプターは各自でご持参いただく必要があります。
- (4) **大会発表論文集割当ページ** それぞれの発表には「大会発表論文集」の 1 ページ分が与えられます。
(注) 期日までに、企画費と出演者全員の参加申込費等が納入されない場合には、企画として認められませんので、ご注意ください。
- (5) **企画および出演回数** プログラム作成上の理由で、1 人がラウンドテーブルを企画申し込みできる回数は、原則として 1 回までとさせていただきます。企画者、司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーター等、大会発表論文集原稿に名前が記載される場合には参加の形式を問わず、その企画への出演者とみなし、出演者としての登録は原則として自主シンポジウムと合わせて 1 人 2 回までとさせていただきます。
- (6) **企画費** 企画費は 10,000 円です。企画申込者が参加費と一緒に支払ってください。
- (7) **企画申込者以外の研究発表費** 参加者は会員・非会員にかかわらず大会参加費の納入が必須となります。非会員が司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーター等として企画へ参加する場合の連名費は 1 人あたり 2,000 円です。同一非会員が複数の企画に参加する場合、連名費は企画毎に

納入してください。ただし、大会参加費のお支払いは1回でかまいません。諸費用の支払いに関する詳細な説明と事例は大会ホームページに記載します。

④ 日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウム

- (1) **発表形態** 日本発達心理学会理事会および各種委員会、日本保育学会、日本質的心理学会ほか関連学会・団体との共催シンポジウム、「臨床発達心理士」認定運営機構等による企画を想定しています。自主シンポジウムに準じます。時間は120分です。会場系のスタッフが進行をお手伝いします。
- (2) **企画申し込み** 企画代表者が第26回大会委員会宛に「①貴団体名、②企画代表者ご氏名、③企画代表者ご連絡先(E-mail)、④演題の仮タイトル」を明記の上、電子メール jsdp2015@p.u-tokyo.ac.jp にて直接お申し込みください。
- (3) **大会発表論文集割当ページ** 「大会発表論文集」には2ページ分が与えられます。
- (4) **企画費** 企画費は10,000円です。企画申込者が参加費と一緒にお支払いください。

IV. 大会参加の手続き



1. Web を通しての大会参加、各種企画の申し込み、参加費等の納入の概略

第26回大会では、大会参加申し込み、ポスター形式の研究発表申し込み、自主シンポジウムやラウンドテーブルの企画申し込み、大会発表論文集原稿の投稿全てを、Web を通して行っていただきます。Web を通しての申し込み等に困難、質問がある場合には 大会参加・発表申し込みサポートデスク (E-mail : jsdp2015en@p.u-tokyo.ac.jp) にご連絡ください。

大会参加費、各種企画費等の納入は、郵便振込になります。参加申し込みをされた方は、同封された郵便振込用紙を使って 10月31日(金) までに送金してください。

(注) 期日までに参加者全員(責任発表者、連名発表者、企画申込者、および企画の出演者)の参加費や企画費等の納入がない場合には、発表・企画として認められませんので、ご注意ください。

2. Web でのオンライン参加申し込み、企画申し込み

「Web 申込/投稿要領」にしたがって、大会の参加申し込み、ポスター形式の研究発表、自主シンポジウムやラウンドテーブルの演題登録（発表・企画申し込み）をしてください。発表責任者・企画申込者は、9 月 1 日（月）17 時までに Web で「参加申込」と「演題登録」のそれぞれを完了している必要があります。2 つは別のページになっています。両方完了していないと発表資格が得られませんので、ご注意ください。参加申込 URL： <https://www.pasreg.jp/reg/top/jsdp/participation>

演題登録 URL： <https://www.pasreg.jp/reg/top/jsdp/author>

※参加申し込みと演題登録、参加費・企画費等納入に際しては次の点にご留意ください。

- (1) **参加申込** 会員は大会参加者全員が「Web 申込/投稿要領」にしたがって、9 月 1 日（月）17 時までに Web を通して「参加申込」をしてください。参加者とは、大会論文集や大会プログラムに掲載される方全員と、大会のみの参加者を指します。連名発表者や企画出演者となる非会員については責任発表者、企画申込者が登録を行います。非会員の参加のみの事前申し込みはできません。
- (2) **演題登録** ポスター形式の研究発表責任者、ならびに自主シンポジウム・ラウンドテーブルの企画申込者は「Web 申込/投稿要領」にしたがって、9 月 1 日（月）17 時までに Web を通して「演題登録」（発表・企画申し込み）をしてください。その場合、「参加申込」も忘れずに行ってください。
- (3) **大会参加費・連名費・企画費納入** 大会参加申込、演題登録に準じて、費用をお支払いください。費用は参加申込のマイページ（詳細内容はマイページの中の「印刷用画面」）にてご確認ください。詳しくは「Web 申込/投稿要領」の「4. 諸費用納入」をご覧ください。非会員がポスター形式の研究発表の連名発表者、自主シンポジウムやラウンドテーブルの出演者になる場合には、責任発表者・企画申込者に非会員の大会参加費・連名費の納入をしていただきます。大会費用は、同封されている郵便振込用紙にてお支払いください。その際、非会員の費用は、責任発表者あるいは企画申込者ご本人の費用に加算してお支払いいただきますので、ご確認ください。なお、納入された費用が申し込み料金を超過していた場合、返金はしませんので、ご注意ください。

3. 研究発表者と企画者の資格

第 26 回大会でポスター形式の研究発表または自主シンポジウム・ラウンドテーブルを実施するためには次の条件を満たす必要があります。申込者は連名発表者の連名費についてもご留意ください。

- (1) 2014 年度の年会費を 2014 年 9 月 1 日（月）までに納入していること。
- (2) Web により大会発表論文集の原稿を 10 月 31 日（金）17 時までに投稿済みであること。
- (3) 大会参加費・発表費・連名費・企画費等を 10 月 31 日（金）までに納入していること。

（注 1）ポスター形式の研究発表の場合には、責任発表者は自身の費用納入とともに、連名発表者全員の諸費用を納入してください。非会員が連名発表者として大会に参加する場合には、責任発表者がその連名発表者の「連名費」2,000 円に加えて、「大会参加費」12,000 円を納入することが必要です。連名発表者の非会員が大会に参加しない場合、責任発表者はその参加しない非会員 1 人あたり「連名費」2,000 円を納入してください。会員の連名発表者が大会に参加しない場合にも、1 人あたり「連名費」2,000 円を納入してください。

(注 2) 自主シンポジウムやラウンドテーブルの場合には、企画参加者全員が「大会参加費」を納入する必要があります。ただし、非会員が企画出演者となる場合には、企画申込者とその非会員の「大会参加費」を納入してください。納入期限は 2014 年 10 月 31 日（金）です。

(注 3) 納入された費用は、「発表取り消し」等の自己都合による場合、返却できません。あらかじめ、ご了承ください。

(注 4) 2015 年 3 月卒業予定等の学部学生も発達心理学会に入会すれば、発表者になることができます。その場合には、2014 年 9 月 1 日（月）までに 2014 年度会費の納入を含めて学生会員の入会手続きを完了していることが必要です。

(注 5) 第 26 回大会は 2015 年度の大会であり、2014 年度会費に加えて 2015 年度会費を発表当日までに納入していることが必要です。2015 年 3 月卒業予定等の学部学生が発表者等になる場合も同様です。（定款では、翌年の会費を 12 月末日までに支払うことになっています。）

4. 非会員の学部学生の大会参加について

今大会では、学部学生は大会参加のみの場合（発表はできません）、発達心理学会に入会していなくても、学生証（コピー可）を持参すれば当日 3,000 円（大会プログラム代を含む）で参加を認めます。当日、受付でお支払いください。なお、大会発表論文集の DVD-ROM や紙冊子をご希望の場合には、受付で購入してください。詳しくは大会ホームページをご覧ください。

5. 諸費用の納入

費用	対象	事前・前納	当日	備考
会員の大会参加費等 (今大会から大会発表論文集は DVD-ROM のみ送付します。紙冊子は送付しません。)	一般会員			
	大会参加・発表	12,000円	-	
	大会参加のみ	12,000円	13,000円	
	大会不参加・連名発表 (1件・1名あたり)	2,000円	-	責任発表者/企画申込者が支払います。
	学生会員			
	大会参加・発表	9,000円	-	学部学生でも2014年9月1日までに入会手続き済であれば参加・発表ができます。
	大会参加のみ	9,000円	10,000円	
	大会不参加・連名発表 (1件・1名あたり)	2,000円	-	責任発表者/企画申込者が支払います。
非会員の大会参加費等	大会に参加する連名発表者/企画出演者			
	大会参加費 (1名あたり)	12,000円	-	責任発表者/企画申込者が支払います。大会参加費の他に連名発表費をお支払いいただきます。ただし、同一非会員が複数の発表・企画に連名している場合、連名発表費は1件毎にお支払いいただきますが、大会参加費のお支払いは1回でかまいません。
	連名発表費 (1件・1名あたり)	2,000円	-	
	大会に参加しない連名発表者			
	連名発表費 (1件・1名あたり)	2,000円	-	責任発表者/企画申込者が支払います。同一非会員が複数の発表に連名している場合、連名発表費は1件毎にお支払いいただきます。
自主シンポジウム 企画費	企画申込者	20,000円	-	企画申込者が支払います。
ラウンドテーブル/日本発達心理学会関連団体 企画費	企画申込者	10,000円	-	企画申込者が支払います。
大会発表論文集 紙冊子	購入希望者	-	3,000円	今大会から大会参加者にはDVD-ROMのみ送付されますので、紙冊子の購入を希望する場合の値段です。
大会発表論文集 DVD-ROM	追加購入希望者	-	1,000円	大会参加者には事前に 1枚送付されますので、追加購入を希望する場合の値段です。
大会プログラム	追加購入希望者	-	1,000円	会員には事前に 1冊送付されますので、追加購入を希望する場合の値段です。
懇親会費	一般会員・非会員	5,000円	6,000円	非会員の懇親会費(事前・前納)については、責任発表者/企画申込者が支払います。
	学生会員	2,000円	3,000円	
非会員の学部学生 参加費	大会参加のみ	-	3,000円	発達心理学会に入会していなくても参加のみ可能です。受付に学生証(コピー可)を当日、必ず持参してください。大会プログラムを1冊お渡しします。

(注) 会員・非会員にかかわらず大会に参加しない連名発表者には大会発表論文集の DVD-ROM は送付されません。大会に参加する非会員の連名発表者/企画出演者については、大会プログラムと大会発表論文集の DVD-ROM が責任発表者/企画申込者のもとに一括して送付されます。

各種企画での研究発表および大会参加等の費用は、「Web 申込/投稿要領」の「4. 諸費用納入」にしたがって、同封されている「郵便振込用紙」を使用して 2014 年 10 月 31 日（金）までに納入してください。参加申し込み手続き完了後に送信される「申込完了」メール、あるいは参加申し込みページからログインできる「マイページ」に記載された金額および申し込み内容をご覧の上、郵便振込用紙に「①ご氏名/ご住所/電話番号、②会員番号（必須）、③各費用項目あたりの件数（人数）、④合計金額」を記入し、お支払いください。納入がない場合には参加・発表が認められません。大会参加予約のみの場合も、2014 年 10 月 31 日（金）までに納入してください。

6. 大会発表論文集（紙冊子・DVD-ROM）の販売について

今大会から大会参加者には大会発表論文集の DVD-ROM のみ配布することとし、紙冊子の大会発表論文集は希望者のみ当日購入していただくこととします（ちなみに紙冊子の大会プログラムは発達心理学会の全会員に送付します）。大会発表論文集（紙冊子）の当日の購入代金は 3,000 円です。また、DVD-ROM の当日の購入代金は 1,000 円です。詳細は大会ホームページおよび大会プログラムでご案内します。

7. 個人情報の取り扱いについて

本大会の申し込みや問い合わせで得られた会員の個人情報は、個人情報保護法に基づき、諸連絡、諸費用支払いの確認といった本大会運営上、必要な業務にのみ使用し、それ以外には使用しません。

V. 大会に関する広報・諸連絡

1. これからの諸連絡

今大会は、2 号通信を送付しません。例年、2 号通信で送付していた大会発表論文集「原稿書式要領」と諸費用払い込みのための「郵便振込用紙」は今回の封筒に同封されておりますので、ご確認ください。これ以降の諸連絡は、随時、大会ホームページに記載します。

2. 諸手続締切一覧

分類	項目	締切
参加申込・演題登録	参加申し込み(大会参加者全員)	9 月 1 日(月) 17 時
	ポスター形式の研究発表申し込み(責任発表者)	9 月 1 日(月) 17 時
	自主シンポジウムの申し込み(企画者) ¹	9 月 1 日(月) 17 時
	ラウンドテーブルの申し込み(企画者) ¹	9 月 1 日(月) 17 時
	日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウム申し込み(企画者)	9 月 1 日(月) 17 時
大会発表論文集 原稿の投稿	ポスター形式の研究発表原稿(責任発表者)	10 月 31 日(金) 17 時
	自主シンポジウム原稿(企画者)	10 月 31 日(金) 17 時
	ラウンドテーブル原稿(企画者)	10 月 31 日(金) 17 時
	日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウム原稿(企画者)	10 月 31 日(金) 17 時
諸費用の納入	ポスター形式の研究発表(責任発表者)	10 月 31 日(金)
	自主シンポジウム(企画者)	10 月 31 日(金)
	ラウンドテーブル(企画者)	10 月 31 日(金)
	日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウム(企画者)	10 月 31 日(金)
	大会参加のみの予約者	10 月 31 日(金)

注1) 自主シンポジウム、ラウンドテーブルの発表の可否は9月16日(火)までにご連絡します。

3. 日本発達心理学会・会費の納入方法

第 26 回大会で研究発表をする場合には、2014 年度の会費を 2014 年 9 月 1 日（月）までに納入し、2015 年度会費を発表当日までに納入してください。両方を納入していない場合には、大会での発表の権利を失います。会費についてのお問い合わせは、日本発達心理学会会員管理事務局までお願いします（E-mail : jsdp-post@nacos.com）。

4. 日本発達心理学会への入会方法

日本発達心理学会に入会していない方が会員（一般会員／学生会員）として研究発表を行うためには、2014 年 9 月 1 日（月）までに 2014 年度会費の納入を含めて日本発達心理学会への入会手続きを完了していることが必要です。入会申し込み後、受理手続きが行われます。入会申込 URL は、下記になります。

入会申込 URL <http://www.jsdp.jp/contents/base/nyukai.html>

入会手続きについては、日本発達心理学会会員管理事務局（E-mail : jsdp-post@nacos.com）までお問い合わせください。

5. 宿泊について

本大会での業者による宿泊の手配は行いません。各自にて早めの手配をお願いします。

6. その他

(1) アプリ導入のお知らせ

今大会より大会アプリを導入し、当日のプログラムの閲覧、スケジュール管理が行えるようになります。パソコン、iOS、Android が対応可能です。大変便利ですので、ぜひご利用ください。パソコンや携帯端末等を持参されない方は、あらかじめ関心をお持ちの大会発表論文集のページをプリントアウトしてお持ちいただくことをお勧めします。詳細は大会ホームページおよび大会プログラムにて後日、ご案内します。

(2) 会員集会、表彰式

会員集会および学会賞の表彰式を行います。大会 2 日目 3 月 21 日（土）のお昼の時間帯を予定しています。詳細は大会ホームページおよび大会プログラムにてご案内します。

(3) 懇親会

大会 2 日目 3 月 21 日（土）18 時より懇親会を行います。会場は、東京大学キャンパス内の「第二食堂」です。会費は事前申込 5,000 円（学生 2,000 円）、当日参加 6,000 円（学生 3,000 円）です。

◆ 担当者より：

日本発達心理学会も発足より四半世紀を迎え、学会の構成員も様々な世代にわたるようになりました。第 26 回大会では、様々な世代のタテのつながり、そして特に若手研究者のヨコのつながりをより一層豊かなものにするべく、多くの方々に懇親会へお越しいただきたいと考えております。今大会の懇親会は、事前の参加予約はもちろんのこと、当日参加も気軽にできるように運営いたします。会場で久々に再会した恩師の先生方や研究仲間、もしくは今大会で知り合いとなった新たな仲間と、ぜひお気軽に懇親会へご参加ください。

(4) 託児室

大会期間中、小さなお子様をお連れの参加者を支援するために、会場内に託児室を開設します。託児室の利用料は無料です。託児室利用申し込みの詳細は、後日大会ホームページにてお知らせします。また、2 月発送の大会プログラムにもご案内を掲載します。

(5) 昼食

キャンパス内や大会会場付近には食事が出るところが多くありますので、そちらをご利用ください。大会期間中の弁当の販売はありません。詳しくは、大会ホームページや当日配布予定の周辺のランチ・マップ等をご覧ください。

(6) コピー

会場内でコピーは出来ません。会場近くのコンビニエンス・ストア等をご利用ください。

(7) 書籍販売・機器展示

大会期間中に、会場内において書籍販売や機器展示を行います。大会ホームページを通しての詳しいご案内も予定しています。

(8) 会場周辺の観光スポット

会場の周辺には美術館や博物館、動物園、後樂園、散歩コース等、観光名所が多くあります。たとえば、今大会の会場である東京大学本郷キャンパスには、赤門や三四郎池をはじめとして、さまざまな観光スポットがあります。またキャンパス周辺にも、小石川後樂園や湯島天満宮、旧岩崎庭園等の歴史的な建造物や史跡、文化財が多くあります。通称「谷根千（谷中・根津・千駄木）」という散歩コースも有名です。さらに、少し歩けば上野動物園をはじめとし、国立科学博物館や国立西洋美術館等の有名な文化施設もあります。東京ドームシティ等の総合エンターテインメント施設や池袋のサンシャインビルへのアクセスも便利です。電車を利用すれば、浅草や東京スカイツリー等にも行くことができます。なお、周辺の観光案内を大会ホームページに掲載し、当日も印刷物を配布する予定ですので、是非ご利用ください。

VI. 第 26 回大会および学会に関する連絡先

1. 大会委員会に関する問い合わせ先

会場や大会全般に関する質問は、E-mail で大会委員会にお問い合わせください。

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院教育学研究科 教育心理学コース事務室

一般社団法人日本発達心理学会第 26 回大会委員会

E-mail : jsdp2015@p.u-tokyo.ac.jp

第 26 回大会ホームページ : <https://confit.atlas.jp/guide/event/jsdp2015/top>

2. 大会参加・発表申し込みに関する問い合わせ先

大会参加・発表申し込みに関する問い合わせは、E-mail で大会参加・発表申し込みサポートデスクにお問い合わせください。

E-mail : jsdp15en@p.u-tokyo.ac.jp

3. 大会参加費納入に関する問い合わせ先

大会参加費納入に関する問い合わせは、E-mail で参加費納入サポートデスクにお問い合わせください。

E-mail : jsdp15pa@p.u-tokyo.ac.jp

4. 学会入会および会費納入に関する問い合わせ先

学会への入会および会費納入に関する質問は、日本発達心理学会会員管理事務局へお問い合わせください。

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入 中西印刷株式会社内

一般社団法人日本発達心理学会会員管理事務局

E-mail : jsdp-post@nacos.com

5. 日本発達心理学会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-2-5 平清ビル 401

一般社団法人日本発達心理学会事務局

FAX : 03-5840-9338

E-mail : office@jsdp.jp

日本発達心理学会ホームページ <http://www.jsdp.jp/>